

## 「流開センター」から「GS1 Japan」へ

GS1 あるいは GS1 標準という言葉をお聞きになった方も、最近が増えているのではないかと思います。GS1（ジーエスワン）というのは、流通分野の国際標準化組織で、世界 114 の国・地域の代表が加盟してバーコードや EPC 電子タグなどをはじめとする GS1 標準の策定・普及を進めています。

当財団は、1978 年にこの前身となる EAN に日本を代表して加盟して以来、JAN コードなどの GS1 標準の普及に努めてまいりました。近年では、様々な GS1 標準が流通業のみならず、物流業や各種機械産業、医薬品・医療機器産業などで利用され始めております。しかしながら、日本における GS1 の知名度は必ずしも高いとは言えず、この点が今後 GS1 標準を一層広範な産業分野における業務効率化に役立てていただくうえで大きな課題となっています。

このような認識のもと、当財団としてはこの度自らの名称（通称）を「GS1 Japan」\*とすることとし、GS1 の知名度向上を図るとともに、広範な産業分野のニーズにマッチする国際標準としての GS1 標準の普及とブランドイメージ確立に邁進してまいりたいと考えております。

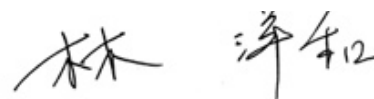
当面、正式名称（登記簿上の名称）としての「一般財団法人流通システム開発センター」という名称に変更はございませんが、当財団職員一同「GS1 Japan」職員としての意識を新たに職務に一層専念する覚悟でおりますところ、引き続き温かいご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2020 年 2 月

# Call us GS1 Japan!



会長

A handwritten signature in black ink, appearing to read "林 洋平" (Hayashi Yohei).

\* 世界各国・地域の GS1 加盟組織も、ほとんどが GS1 US や GS1 France のように「GS1+国(地域)名」を名称としています。